

おとこ愛人

同志の皆々様

暑中お見舞い
申し上げます。

会長 吉永龍洲

仕事は辛くても、嬉しい時は勿論、悲しい事があっても、きつと「吟」で扶けられ勇気づけられつゝ、それぞれに頑張つていらつしやること信じておられます。

扱、先般の定時総会でも申し上げましたが、来る九月二十五日（日）は、練馬文化センターでの創立二〇周年記念大会です。あと二ヶ月余りです。学芸会の集まりのように余りなくありませぬ。稽古に稽古を重ねて、全会員の総力を結集して、大会を成功させたいと思ひます。

どうぞ皆様よりよくお願いします。

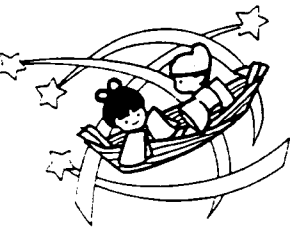


各部門で大活躍

第二十八回日本吟道全国大会

春の全国大会が風薫る五月八日（日）、おなじみの川口総合文化センター大ホールで開催されました。南洲吟道会からは六十九名が参加し、合吟出場も初めて男女別れての出陣となりました。リハール後、男子は西本秀龍理事の先導により「桂林狂詩」に示すその「一」を女子は橋本術龍理事先導で「宝船」をそれぞれ法人化十周年を祝して高らかに吟じられ盛大な拍手を受けました。会旗を宝船の帆に見立て、高く掲げたアイディアは圧巻でした。今大会は都道府県別に吟編成されているのが特徴でした。

大会の華、グランプリ合吟コンクールは、会場の熱い視線を受けて十チームによつて競われました。過去優勝のいづれ劣らぬ選り抜かれたつわものが勢揃い火花を散らしました。我が会の代表は、吉永旭祥、今野瑤祥、児玉智祥、新村徑城改め紅祥、浜口昭城の五人の選手が「山行同志に示す」を気迫のこもった熱吟として、見事に準優勝を飾りました。



続く式典では、吉永龍陽副会長が吟道発展に寄与した功績により会長につづき「宗師」の称号を贈られ顕彰されました。お目出度うございます。高齢者特別表彰、功労者表彰、推薦吟詠者表彰が行なわれ、南洲吟道会はこれ等各部門に該当者が名を連ね、力の大きさを示した感じでした。（総合資料参照）

特に推薦吟詠荘心の部優勝の富沢富祥師は逞しき意志と燃える情熱で、八十四才の青春を堂々たる晴れの舞台に表現して下さいました。スクリーンに大きく写し出されたビデオ吟詠「常磐松を抱く」は、その迫力と完璧なまでの詩情表現で会場を感動の渦の中に巻き込みました。どうぞ益々お若く私たちの希望の星として輝き続けて下さい。

記念特別番組「龍神先生を偲んで」に出演された吉永旭祥師の「相模湖の恨み」は流石プロの賞讃で、舞とあいまつて観客を魅了し、しばし拍手がなりやみませんでした。素晴らしい演技が注がれた佐藤勝祥師、加藤孝祥師そして当日受付をお手伝い下さった大勢の同志の皆様、ほんとうに有難うございました。この暖かい和を二十周年記念大会にも発揮しようではありませんか。

広報局

会報 第一〇号

発行日 平成六年七月一日
発行所 南洲吟道会広報局
編集人 会長 吉永龍洲
発行所 千一六五 中野区白鷺二ノ三四ノ五
(社) 日本吟道学院南洲吟道会
〇三(三三三〇)七〇〇九

平成六年度 南洲吟道会定時総会開催される

平成六年五月二十九日（日）十三時より豊宮地域センターに於いて、橋本特龍総務局長司会のもと定時総会が開かれました。出席者五六名、委任状提出者九八名、で開かれた総会。出席者は全国的に学院認可一二二団体中第一位を占めるに至りました。法人化十周年の各種記念事業と共に、当会も五〇〇名の会員を目指して普及活動を続けた。会長の力強い挨拶があり、平成五年の度事業報告及び各種入賞表彰挨拶と新役員、新入会員の紹介の後、会計報告があり、川村経理局長、有坂会計部長、全員の拍手をもって承認された。橋本・小林両理事が会計監査報告をしました。平成六年度事業報告、質疑応答に続いて会長ご挨拶による、平成六年度事業報告、ウシマンを稽古し、赤山双龍理事の万歳三唱で熱事終了しました。詳しくはお手元に配布された資料をご一読ください。

席を改めて役員会が開かれ、二十周年記念大会準備委員と大洲大会実行委員長によるこれまでの経過報告があり、更に午前中に行なわれた理事会に於いて参加出来な方からも大会を成功に導くために三千円の賛助会費を募ることに決定した旨、西本秀龍理事より報告があり、開いた。大会役員会の発表等があり、いよいよ二十周年に向けて拍車がかかります。

おめでとうございます
弥栄をお祈りします

☆大泉教場誕生

指導者 新村紅祥師（龍陽会）
練馬区南大泉区民会館 本館目の午後

☆教場から会へ昇格

龍陽教場・・・龍陽吟道会
いずみ教場・・・いずみ南洲吟道会
中町教場・・・中町南洲吟道会

☆ゴールド表彰（八十五才以上で皆伝以上）

道明節 祥師（熟年）
難波節 祥師（熟年）
中山泰 祥師（熟年）

☆シルバ―表彰（八十才以上で皆伝以上）

岩坪博 祥師（願問）
佐藤永 祥師（龍陽会）
高野歌 祥師（熟年）

☆推薦吟詠荘心の部表彰

優勝 富沢富祥師（若葉）

☆吟道発展に寄与した著しい功績による顕彰

宗師の称号を受彰 吉永龍陽副会長

☆法人化十周年記念グランプリ合吟コンクール

準優勝 吉永旭祥（龍陽会）今野瑤祥（阿佐ヶ谷）
児玉智祥（龍陽会）新村紅祥（龍陽会）
浜口昭城（龍陽会）

☆詩吟名人会男女ベアコンクール

準優勝 浜口昭城（龍陽会）中島昭城（三奏）



日本吟道全国大会 合吟コンクール準優勝を受賞して

龍陽南洲吟道会 児玉智祥

このコンクールは、創立より二十八回を数え、今回はこれまでの優勝チームが所属する認可団体より代表が十...

悪声でも頑張ります

龍陽南洲吟道会 新村紅祥

南洲吟道會會報

詩吟との出逢いは半主の頃、何処かで「聲清粛」を...

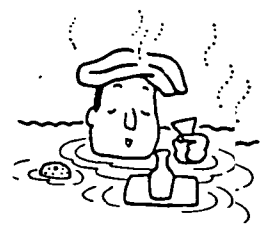
大きな志を張り上げていけば健康につながる位の気持...

旅は道連れ世は情け

八王子南洲吟道会 中島濃洲

昨年秋、鹿兒島で開かれた戦友会に出席した。会場は...

にマツチしたのか好評を博した？ようであった。...



楽しかった秋の吟行会(パートII)

広報局局長 鈴木正祥 3

さて、山水館の温泉につかって小憩の後、いよいよお待ちかねの本日のメ...

た瞬間、アツという間に吉永会長をからめ捕まて行つてしまひました。ああ、何たる早業か。さういふギャル軍団、虚をつかれた私たちはただ呆然とあの躍動的に揺れ動く腰みのや胸の周辺部を控え目に見つめていた。外に為すすべもありませんでした。その王冠の夕方をはめられ、鼻はピエロの如きダンゴでふさがれ、おまけに強烈なしびれ酒まで飲まされて全身の自由を奪われながら、ギョウ軍団の練り出す執拗なキスや抱擁などの集中攻撃をけなげにも耐えに耐えていたのであります。
PARTYは庄巻のラインダンス。テレビマル子ちゃんのようにも上がらない。ええ、まよとばかり両手で持ち上げるが、こんどは重くて上がらない。このように例えようもなく不揃いで個性的な脚線美が、まぶしくライトに映える。ああ、又今夜も眠れない。あのギヤ九番手は荒井老師による浪曲の管だったか、あのギヤ軍団のしびれ酒が効いたらしく、言語明瞭、意味不明にて、まだ終わらぬうちに拍手がうるさくなり、去らず自ら幕を引きダウン。美女救護隊が出動して運び去る。
十番手は、お馴染み菊田正水さんの新舞踊「春さめ情話（即ちラブストーリー）」。
「お・た・ま・に・逢・う・瀬・の・相・い・合・い・傘・に・ふ・れ・る・小・指・の・や・る・せ・な・さ・」(アイン、ダマンナイ)
「ファイナル」は、日光和楽音頭。全員が踊りの輪に入り会場狭ましと友好の輪を広げここを先途と練り踊る。さて、翌日も天気晴朗、華厳の名漢を見、東照宮に詣で、バス中ではカラオケ大会が昨夜を凌ぐ盛り上がりで特にカラオケ大会の賞品は、今年から従来の洋風メニュー(握手、口づけ、抱擁)に、和風メニュー(おんぶ、だっこ、肩車)が加わって、はからずも賞品授与の大役を与えられました。私は、喜びと恐ろしさで身の引き締まる思いでありました。
夕刻、想出とお土産を満載して、バスは無事定刻に阿佐ヶ谷駅に到着、楽しかった吟行会も幕となつた次第です。幹事の皆さん、会長先生を始めご参加の皆さん、それにいろいろ差し入れなどお気遣い下さいました皆さん、ここにこの吟行の感謝の意を捧げます。

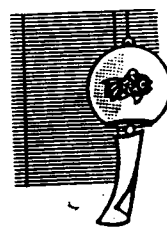
協成吟同志より橋本清龍への手紙

八王子南洲吟道会 協成吟

三月二十四日、私は入しぶりに東京九段の靖国神社参拝をさせて頂きました。参拝の帰路必ず立ち寄りますのが遊就館であり、ここに大東亜戦争で散華した幾多の英雄達の中、昭和十七年五月三十一日、オーストラリア・シドニー港を強襲、戦死した特殊船舶航艇三隻の乗組員の展示コーナーがござります。三隻中、一号艇の中馬兼四(海軍中佐(鹿児島出身)、三隻艇の松尾敬字中佐(熊本出身)が生前座右の書として愛読してやまなかつた。西郷南洲翁遺訓(遺訓表紙に東郷元帥署名、花押あり)が年問を通して他の幾多の英雄達の遺品、遺書と共に展示されております。南洲翁遺訓、それはかの戊辰(ぼしん)戦争の折、当時東北雄藩の一つ庄内藩々主酒井忠篤が自ら率先して西郷翁の教えを乞い爾後、翁の精神が旧庄内藩士の手により、南洲翁遺訓として今日に伝えられたものであり全文五十三則、人としてとりわけ世の指導的立場にある人達必携の書であり、また庶民に対しての深い情感を以て貫かれております。
大西郷の偉大さ、それは只一つ、私心を持たず、包容力に富んだ大きな人間の魅力にありましよう。西南の役に従軍、西郷に殉じた豊前中津隊の増田栄太郎(行年二十九才)の言に、「吾れ此処に來たり、始めて親しく西郷先生に接するを得たり。一日先生に按ずれば一日の愛も、死生を共にせんのみ」と、まさしく遺訓の中心思想「敬天愛人」を地で行くエピソードであり、増田栄太郎の心事の高潔さも美しく見事ですが、西郷の偉大さは、この一事でもうなすけるでありましよう。

我に千絲の髪有り、西郷南洲 作
我に一寸の志有り、船船として雪よりも白し
我が髪は猶断つ可し、我が心裁つ可からず

「天意を知れ」、「讀流」等これら南洲翁の詩書を読む時、南洲翁の偉さが身に迫つて來ます。
時、艱にして偉人を思う。混乱の現在の世の姿は、果たして大西郷の巨眼に、どのように映じているのでしょうか。
私自身、昨春秋、会名は南洲吟道会であると聞き、その場で入会を決意をしたものでござります。



詩歌投稿

漢詩 八王子南洲吟道会 協成吟
寄レ 言ス

育英地ト白鷺台 育英地はトす白鷺台
師教恩波唯大哉 師教の恩波唯大いなる哉
須学修兮智与徳 須く学修むべし智と徳と
邦家偏要棟梁材 邦家偏に要する棟梁の材

(上平十灰平起)
白鷺台ニ中野区白鷺南洲吟道会発祥の地
棟梁材ニ国家有為の人材

言レ 志 (於平成五年度春季吟道温習会)
以詩会友龍洲門 詩を以て友を会す龍洲の門
偏覚如今使命尊 偏に覚ゆ如今使命の尊きを
須学修兮斯道徳 須らく学び修むべし斯道の徳
正声興起是吟魂 正声興起是吟魂

龍洲門ニ吉永龍洲先生の一門

短歌 八王子南洲吟道会 若林華吟

出番待つ 胸の動悸を抑えつつ 昇段試験の詩繰り返す
唄ひ終え 味ある吟と評給ふ 「大田道灌」七言絶句
山豈ふ一部方 二部方あたり会場に 「カールブッセ」の吟こだまする
杳き日は返すよしなし 「青春は心の持ち方」とて 諾ひとときめく
朝醒めに遠ほととぎす一声が 今日一日を無為とはなさず

俳句 八王子南洲吟道会 先崎博洲

ホーホケキヨ 下駄まさくって 一步二歩
ホーホケキヨ 殿上人の 清々し
吟声や 矢羽根するどく 梅雨をきる

